

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 4 月 7 日

事業名称		財政事務費 [財政状況の公表事務]					
予算科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 4 財産管理費	事業番号 1			
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの					
担当部署・課長名		財政 課 財政担当		課長名		鈴木 俊也	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。				施策番号		行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現				総合計画書(ページ)		122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民		市民意識調査において「市の行財政運営の取組みに対する評価について」の設問に「よく取組んでいると思う」と回答した市民 →				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
市の財政状況を市民に知ってもらう		対象指標(同上の割合)を8.7%以上にする →					
③ そのために何をしましたか。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
毎年度、上半期(4~9月)及び下半期(10月~3月)の財政状況、財務書類、前年度決算、当初予算の概要について、市報及びホームページで公表している。		①財政状況の公表については、各年度2回(5月及び11月)告示 → ②市報及びホームページにより、年5回(決算・予算含む)公表 ③財務書類については、年1回公表					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標 令和3年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266	
	成果指標	②の数値	%	6.3	6.2	5.5	
	目 標	②の目標値	%	8.7	8.7	8.7	8.7 8.7
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 総合計画における成果指標として、令和3年度までに8.7%を達成することを目標値としている。							
3 経費	活動指標		③の数値	①回 ②回	2 5	2 5	2 5
	事業費(実績)		円	3,364,416	2,930,580	2,042,150	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	3,364,416	2,930,580	2,042,150	
		特定財源	円				
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	4,126,500	4,122,000	4,155,000		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	7,490,916	7,052,580	6,197,150		
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く						
	市の財政状況について、わかりやすい説明や事業別の行政コストの明示を求められている。						
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く						
	市報等の記載内容を見直し、わかりやすい財政状況の公表に努めるとともに、代表的な事業について公会計制度による事業別行政コスト計算書の作成を進める。						